

7月10日

いざというときに備えて 川湯消防団が夜間はしご車訓練



はしご車を操り被災者を救助する訓練

川湯消防団では7月10日、川湯市街地のホテルなどを対象に夜間はしご車訓練を行いました。川湯温泉街が繁忙期を迎えることから、ホテルなど高層建物の災害に備えたもの。逃げ遅れた方を客室の窓から救出する想定で行いました。多くの観光客が見守る中、2010年に導入した新型はしご車の能力を活用して、迅速・確実な救出活動を展開。川湯温泉の災害対策に安心感を印象付けました。

7月9日

緑多いまちづくりに役立ててください 弟子屈中生徒が緑の募金



募金を手渡す弟子屈の皆さん(右中央)

緑化推進の一環として行われた緑の募金運動で、町内の皆さんからご協力いただいた募金が、弟子屈町緑化推進委員会(会長・徳永町長)に寄付されました。緑の募金運動は5月9日から6月30日にかけて行われ、自治会や企業、学校、個人の皆さんなどから募金をいただきました。7月9日には、弟子屈中学校(坂東薫校長)の生徒会の皆さんが役場を訪れ、生徒の皆さんから協力していただいた募金を徳永町長に手渡しました。募金は、町内の緑化推進に役立てられます。

緑化推進の一環として行われた緑の募金運動で、町内の皆さんからご協力いただいた募金が、弟子屈町緑化推進委員会(会長・徳永町長)に寄付されました。

6月25・26日

温泉を軸にした観光振興探る 源泉かけ流しサミットを開催



川湯の森病院 齋藤理事長の講演

第9回源泉かけ流し全国温泉サミットin川湯・摩周(日本源泉かけ流し温泉協会・摩周湖観光協会主催)が6月25・26の両日、川湯温泉で開催され、98人が参加しました。サミットは、源泉かけ流しをうたう全国各地の温泉地10カ所が持ち回りで開催していて、本町での開催は2回目。初日は総会が行われ、新たに2カ所の温泉地が加盟を承認されました。2日目には、加盟する各温泉地の取り組みが紹介されたほか基調講演や座談会を行い、源泉かけ流しの効能や、温泉を軸とした観光振興などについて意見交換を行いました。

第9回源泉かけ流し全国温泉サミットin川湯・摩周(日本源泉かけ流し温泉協会・摩周湖観光協会主催)が6月25・26の両日、川湯温泉で開催され、98人が参加しました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐ反映させます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913(課直通)

7月12日

ふるさとの釧路川を豊かに リバープロテクション・21の会がヤマメを放流



大きくならねと願いを込めて

釧路・リバープロテクション・21の会(上田光夫会長)主催によるヤマメの稚魚の放流が7月12日、摩周温泉公園の釧路川護岸で行われました。魚類資源の回復のために毎年行っているもので、釧路開発建設部釧路河川事務所や町、会員など関係者約50人が参加。弟子屈小学校(阿部典子校長)の2・3年生の児童82人と摩周丘幼稚園(鈴木幸栄園長)の園児11人も招待され、体長10センチほどのヤマメを放流しました。上田会長は「昔のようにヤマメがいる川になってほしい」と話していました。

釧路・リバープロテクション・21の会(上田光夫会長)主催によるヤマメの稚魚の放流が7月12日、摩周温泉公園の釧路川護岸で行われました。

7月12日

お父さんお母さんと楽しいひととき 川湯保育園で親子交流会



フジワラさんの紙芝居に見入る園児

川湯保育園(清水節子園長)の親子交流会が7月12日に開催されました。保護者会の主催で毎年行われています。園児は園内で大玉転がしゲームをした後、お父さんたちが焼いてくれた焼き鳥やフランクフルト、焼きそばなどに舌鼓。園庭では、美留和のフジワラトシカズさんによる青空紙芝居も行われ、楽しいひとときを過ごしました。

川湯保育園(清水節子園長)の親子交流会が7月12日に開催されました。

6月30日

楽しい登山のために パークボランティアが藻琴山登山道を整備



楽しく安全な登山のために

川湯エコミュージアムセンターを拠点に自然保護活動などを行っている摩周・屈斜路パークボランティアの皆さんが6月30日、藻琴山登山道の整備を行いました。比較的気軽に登れる山として人気ですが、山頂下広場で土砂崩れが起きやすい場所や、屏風岩周辺に貴重な高山性植物の生育域があり、むやみに足を踏み入れないように登山者に注意を促すロープを張りました。好天となったこの日も、多くの登山客が山頂付近でお弁当を広げる姿が。ボランティアの皆さんは「マナーを守って楽しい時間を過ごしてほしい」と話していました。

川湯エコミュージアムセンターを拠点に自然保護活動などを行っている摩周・屈斜路パークボランティアの皆さんが6月30日、藻琴山登山道の整備を行いました。

6月29日

川下りで地元の自然の素晴らしさを再確認 カヌーガイドによるリバーフェス



普段とは違う視点で自然を感じる

釧路川リバーフェス'13(同実行委員会(土田祐也実行委員長)主催)が6月29日、釧路川源流部で開催されました。町の皆さんに地元の素晴らしい自然を体験してほしいと、町内のカヌーガイドの皆さんが開催しているもので今年で5回目。一昨年から、東日本震災のチャリティーイベントとしても開催されています。今年も97人が参加。カヌーで屈斜路湖を出発し、ガイドとの交流を楽しみながら約3キロの釧路川下りを満喫しました。参加費の大部分と会場で寄せられた募金合わせて90,708円が、義援金として日本赤十字社を通して寄付されました。

釧路川リバーフェス'13(同実行委員会(土田祐也実行委員長)主催)が6月29日、釧路川源流部で開催されました。

7月14日

みんなで住みよいまちづくりを 社会を明るくする運動の街頭啓発



夏まつり会場に住みよいまちづくりを呼び掛け

社会を明るくする運動強調月間の7月、保護司や更正保護女性会などで組織する実行委員会の皆さんによるさまざまな啓発活動が行われました。14日には摩周の里夏まつりの会場で啓発活動を行ったほか、16日には、JA摩周湖前とフクハラ摩周店前で買い物客にティッシュなどを手渡し、住みよいまちづくりへの理解と協力を呼び掛けました。

社会を明るくする運動強調月間の7月、保護司や更正保護女性会などで組織する実行委員会の皆さんによるさまざまな啓発活動が行われました。

7月13～15日

道の駅リニューアル2周年を記念して 大盛況の姉妹都市交流物産展



観光客や地元の方でにぎわった物産展

一昨年にリニューアルオープンした道の駅「摩周温泉」の2周年を記念した姉妹都市交流物産展が7月13日から15日にかけて開催されました。交流物産展では、野菜や摩周そばなど弟子屈の地場産品のほか、14日には本町の姉妹都市・鹿児島県日置市の特産品である薩摩焼酎やお茶、サツマイモなどを販売。連休中ということもあり、多くの来場者でにぎわいました。

一昨年にリニューアルオープンした道の駅「摩周温泉」の2周年を記念した姉妹都市交流物産展が7月13日から15日にかけて開催されました。

7月7日

外来種のオオハンゴンソウを駆除 エコミュージアムセンターの自然ふれあい行事



手分けして慎重に作業

川湯エコミュージアムセンター主催の自然ふれあい行事「川湯から外来種をなくそう」が、7月7日に行われました。対象は全国的に拡大が懸念されているオオハンゴンソウで、町内でも早急な繁殖防止対策が必要とされています。継続的な実施を見据え、昨年と同じ場所で行われました。開花前のため、葉の形が似ているヨモギや在来種のハンゴンソウと間違えないよう、参加者の皆さんは慎重に見比べながら作業を進めていました。引き抜いた数は1時間ほどで1,450本と昨年をやや上回る結果となり、あらためてオオハンゴンソウの繁殖力の強さを実感しました。

川湯エコミュージアムセンター主催の自然ふれあい行事「川湯から外来種をなくそう」が、7月7日に行われました。

7月2日

夏の夜に癒やしの光 道の駅摩周温泉に電子ホタル



ホタルのような点滅のLED(釧路新聞社提供)

道の駅摩周温泉で7月2日、黄緑色に光る発光ダイオード(LED)をホタルに見立てた「電子ホタル」の点灯が始まりました。道の駅敷地内で湧く温泉と冷水の温度差を利用した発電装置を活用した。足湯そばのギンフミツキの木に取り付けられた直径約5ミリのLED100球が、制御装置によって10通りに点滅します。電子ホタルは毎日18時～0時に点灯。9月末ころまで続ける予定です。皆さんも一度、ご覧になってみませんか。

道の駅摩周温泉で7月2日、黄緑色に光る発光ダイオード(LED)をホタルに見立てた「電子ホタル」の点灯が始まりました。